



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.41)

平成27年度事業所方針について



平成27年4月1日、新年度のスタートにあたり所長から全職員に訓示がありました。その内容は、平成26年度処理目標はほぼ達成したこと、平成27年度は平成26年度に策定した長期処理計画及び長期保全計画に基づき、安全で安定した操業及び保全を実践し、PCB廃棄物の早期処理完遂をめざして確実に処理を進めていくことなどです。また、今年度方針として下記の項目が示され、全員で確実に実行していくことを誓いました。

平成27年度 JESCO東京PCB処理事業所方針

1. **安全で信頼される操業体制を維持する。**
2. **処理施設の安定操業を確保し、長期処理計画を推進する。**
3. **工程内処理残渣及び運転廃棄物の処理を促進する。**
4. **処理施設の長期保全計画に基づき、健全なる設備の保全・更新に努める。**

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成27年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	107台	2,763台
コンデンサ類	1,810台	35,558台

*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

*低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

平成27年3月23日、江東区東陽町にて第33回環境安全委員会（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

議題1として、平成26年度下期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、運転時トラブルの状況、運転及び設備の対策・改善、安全衛生管理活動、教育・訓練等について報告しました。

運転時トラブルの状況では、1件目として、平成26年10月に発生した水熱分解設備No.1再生熱交換器出口連絡管からの蒸気漏れについて、作業環境測定を実施した結果、PCBは検出されず作業環境への影響はなかったこと。また、ファイバースコープによる熱交換器出口連絡管全管の目視検査および、超音波探傷検査を行い、減肉が確認され問題となる部分は全て新たな配管に取り換えたことを報告しました。2件目として、水熱分解設備再生熱交換器出口連絡管における一連の漏洩事象への対応として、平成27年度中に再生熱交換器出口連絡管からの蒸気漏れに対応し3系列の順次全面取替を実施すること、また、早期発見の取り組みとして設備パトロールの強化等を実施することを報告しました。

議題2として、今後の設備老朽化に対応して策定した長期保全計画について、

議題3として、リン化合物含有PCBの前処理の検討について、を報告しました。

このほか、トラブル発生時の委員への連絡手順を確認していただきました。

委員からは、進捗率の内容を分かりやすくする必要性についてのご意見がありました。また、東京都からはJESCOに対し地元自治体の理解を得るための的確、十分な説明を行っていくことなどの要望がありました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引続き安全・確実な処理を行ってまいります。



環境安全委員会の様子

首都圏広域協議会の開催について

平成27年3月11日、東京都庁にて第19回「首都圏広域協議会」が開催されました。広域協議会は1都3県及び10市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的として開催されます。

会議では、最初に会長である東京都から、国の基本計画改定の経緯、改定に当たっての地元の意見、安定器の処理料金改定、今後の処理対象物の掘り起し、およびJESCOと各自治体との連携の重要性の話がありました。次に各自治体から処理促進のための掘り起しや現地調査等の取り組みの報告がありました。続いて環境省から、平成27年2月25日に開催されたPCB廃棄物早期処理関係者連絡会についての報告がありました。

当社からは、①安定器等・汚染物の処理開始に当たっての特別登録割引制度等、②PCB廃棄処理委託費用の分割払い制度の導入、③トランス・コンデンサの処理完了に向けた営業活動の考え方、④平成26年度の処理実績、⑤平成27年度受け入れ予定量、⑥処理の進捗状況、および⑦1都3県に係る重点搬入計画の報告を行いました。

出席自治体からは、安定器等の特別登録の方法、重点搬入計画のスケジュール等についての質問がありました。

PCBの処理推進に向けて、有意義な意見交換がなされました。

少量保管事業者に対する説明会の開催について



少量保管事業者処理説明会の様子

当社では、PCB廃棄物（トランス、コンデンサ等）の少量保管事業者を対象に、「PCB廃棄物処理説明会」を開催しています。

平成27年3月6日の説明会では、神奈川県内の合わせて66社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、平成27年9月の重点搬入期間に向けて、受入までに行っていただく中小企業者等軽減制度申請や当社との契約手続、収集運搬事業者による積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後もPCB廃棄物の全量処理を目指し、定期的に処理説明会を開催してまいります。

総合防災訓練の実施について

総合防災訓練を3月27日に実施しました。東京湾北部を震源とする震度6強、250ガルの地震により、屋外危険物タンクより防油堤内に液が漏洩し、漏れた液に着火、火災が発生、との想定で実施したものです。

自衛防災組織の担当毎に事前検討会を実施し、活動内容及び役割分担等の確認を行いました。訓練は対策本部及び現地指揮本部の連携のもと、大きな混乱なく実施ができました。

なお、今回の訓練は臨港消防署にも参加いただき、放水車からの放水訓練も行われました。また、地元東京都環境局及び江東区の担当者の方々にも立会い・助言をいただきました。

今後とも、定期的に訓練を実施し、さらにレベルアップを図ってまいります。



総合防災訓練の様子

平成26年度の施設見学者数について

平成26年度は合計694人の方々へ施設見学にお越しいただきました。見学者は、保管事業者の方、官公庁の方、学生、スーパーエコツアーの参加者、海外からの方などさまざまです。

平成26年度 見学者数

	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	1月～ 3月	合計
団体数	16団体	22団体	19団体	13団体	70団体
見学者数	136人	205人	235人	118人	694人

見学は火曜日と木曜日に実施しています。希望される場合は、下記の電話番号へご連絡ください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023
<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>

東京PCB廃棄物処理事業だより (No.42)

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成27年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	4月～6月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	54台	2,817台
コンデンサ類	864台	36,422台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

処理施設の定期点検について

平成27年度の定期点検を、5月25日から6月23日の日程で実施しました。この期間中にボイラーや電気設備等の法定点検、主要設備の定期検査及び施設を停止しなければ出来ない工事・点検などを実施しました。また、継続的に安全・安定的な操業ができるよう改善工事も行いました。

(1) 安全大会の実施

定期点検を無事故・無災害で行うことを目指し、定期点検作業開始前に安全大会を実施しました。

JESCO 社員及び運転会社、点検・整備にあたる工事請負会社などの関係者が集合し、JESCO 所長による安全訓話、工事請負責任者による安全宣言などを実施し、注意喚起及び安全意識の高揚を図りました。

期間中は、入所者教育の徹底や安全パトロールを強化し、定期点検作業を無事故・無災害で終えることができました。



安全大会の様子

(2) 定期点検・改善工事

① クレーンによる屋上への整備資材荷上げ作業



② 配管内点検作業
(ファイバースコープによる配管内検査)



③ 水熱酸化分解反応器の内部点検作業



(3) 廃粉末活性炭処理装置の設置

北九州及び大阪PCB処理事業所で発生した廃粉末活性炭を当事業所の水熱酸化分解で無害化処理するために、廃粉末活性炭処理装置をこの定期点検期間に設置すべく工事を進めてきました。6月末に工事は完了し、その後試運転を開始しました。

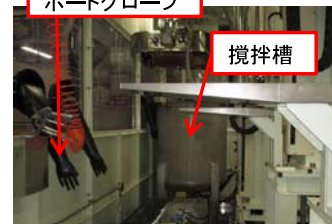
なお、この設備の作業は遮蔽された部屋で主に自動で行われ、人の手が必要な際は装置外部からポートグローブにより安全に行われます。

操作盤、ポートグローブ



装置外観

ポートグローブ



装置内部

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会を開催しました。



事業部会の様子

5月19日に、平成27年度第1回東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学名誉教授）を開催しました。

最初に、新たに廃粉末活性炭処理装置を設置するのに先立って、使用を停止していた設備を解体、撤去しましたが、今後の設備更新の参考とするため、設備更新廃棄物の解体から撤去・払出し作業の内容について、報告を行いました。

その他、PCB廃棄物処理の進捗等について報告しました。

各委員からは、設備更新に伴う撤去・払出し物の処理完了確認について等、多くの助言をいただきました。

緊急避難訓練の実施について

定期点検中の6月5日に、東京湾北部を震源とする震度5強、150ガルの地震が発生したとの想定でJESCO社員、運転会社員そして定期点検工事請負者が参加して緊急避難訓練を行いました。

①初期対応では、身体の安全確保、防災対策委員会の招集、地震情報・設備状況・災害警報の確認等、②緊急避難訓練では、正面玄関前への避難・人員確認等、③事務施設の点検では、事務室・中央制御室・食堂の被害確認、④地震発生後の措置訓練では、自動火災報知設備・有害ガス漏洩検知器の作動状況確認、現場・設備の異常確認等、を行いました。

訓練は混乱なくスムーズに終了しましたが、実施後の反省会ではいくつかの指摘が出されました。

訓練は今後も、定期的の実施することとしていますが、今回の反省点を生かし、さらにレベルアップを図ってまいります。



避難・人員確認



搬送訓練

産業医による熱中症講話の開催



熱中症講話の様子

産業医の大矢先生による熱中症予防の講話を7月16日に開催しました。

熱中症は、気温、湿度が高く風が弱いなど、体温調整に障害がしやすい環境下で、高齢者、肥満者、運動不足の人などが特に発症しやすいとされています。熱中症が疑われたら、涼しい所で服を脱がせて体温低下を図り、水分・塩分の補給が重要とのことでした。

対策として、体力づくり（2週間程度のウォーキングなど）、作業前後の水分・塩分の摂取の徹底、休憩時間の確保などを心掛けることが必要との話がありました。

また、WBGT（気温と湿度との関係で熱中症の危険度を示したもの）で暑さ指数を確認し、室内の温度と湿度を快適な状態に保つよう心がけてほしいとの話がありました。

熱中症予防に大変参考になる講話でした。

社長交代のお知らせ

6月25日の株主総会にて、弊社代表取締役社長が矢尾板康夫から谷津龍太郎へ交代となりました。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023
<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.htm>